

令和6年度 第5回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時：令和6年9月18日（水）午後1時30分～午後3時30分

■場 所：府中駅北第2庁舎 6階小打合せ室

■出 席：（敬称略）

（委員）（4名）石川 伊智郎、浅田 多津子、杉村 康之、谷田部 義則

（事務局）（2名）熊谷 一茂、町田 拓未

■欠 席：

（委員）（3名）塚原 仁、室 英治、渡邊 妙子

（事務局）（2名）柳下 豊宏、田口 敦

■議 事

1. 報告

① 令和6年度 第4回検討調整会議事録・・・内容了承。

・暑さによる市内イベントの中止はあったか。⇒知る限りでは暑さを理由としたイベントそのものの中止はない。文化センター祭りなどはそれぞれ日中屋外で行う各プログラムの時間を短縮するなど工夫して対応していたと聞いている。

② 各部会の報告・・・

・学習部会：直近では9月10日に部会を実施。主に8月21日の夏休み親子かんきょう塾バス見学の振り返りと9月11日の第3回開催に向けた確認などを行った。次回は10月8日。

・広報部会：8月29日（木）に実施。今後の部会の方針について話し合う。詳しくはこの後の議事②にて。次回の部会開催は議事の結果によるため未定。

③ 今年度各種事業の進捗について・・・各事業アンケート集計および事業一覧を共有。

・7月27日の自然観察たんけん隊③は子ども30名、大人34名の参加があった。開始直後に具合が悪くなり帰宅したお子さんが1人いた。今回、魚の捕獲・観察を行った場所が西府文化センターから離れた場所であったため、AEDを持ってきたほうがよかったとの意見が出た。今後の事業では事務局に持参をお願いしてよいか。暑さ指数計は役に立った。⇒例えば去年の「多摩川名人」では毎回事務局がAEDを持参していたので同様の対応は可能。野外イベントの際は基本的に持参する対応としたい。暑さ指数計に関しては健康推進課から借りたものであるが、今年のような暑さが当たり前になるようであれば、野外イベントが多い環境政策課としても備えておく必要性が高いと思われる。

・かんきょう塾第6回をオンラインで配信できないか。⇒事務局から林館長へ打診してみる。先方の反応を待たない。

・エコクッキングの実施について、東京ガス様から来年度以降の展望も含めていくつか提案をいただいた。条件や費用面から今年度中の実施は難しそうな方向に振れている。

・春の親子かんきょう塾は未定。バスを利用するのであれば3月実施なら年内に日程・行先を決める必要がある。バス利用ありきではなく、訪問・見学したい場所の交通の便から判断する必要があると考える。

・桜まつりの出展も未定。

④ その他・・・特になし。

2. 議事

① イベント事業の広報について

・TOKYO-ecosteps についてチラシをもとに説明。東京都環境公社が行っている取組みで、メンバー登録した都民が公式サイトに掲載された環境にまつわるイベントへ参加したり、施設を見学したりするとポイントをためることができる取組み。公社の方からセンター事務局へ提案があり、センターイベントをこの取組みの公式サイトに載せないか、とのこと。事務局としてはイベント周知の方法が増えることに大きなメリットを感じており、問題が無ければ参加したいと考えている。

・府中市民がメンバー登録することによるメリットはあるか。⇒府中市民に固有のメリットというものは特にないと思われる。

・東京都の取組みということは、府中市外へも周知がされるということか。⇒その通り。現状、かんきょう塾などは市外からの参加者も受け入れているため問題ないと考える。とはいえ、極端に多数の市外参加者が押し寄せる状況が生じないとは言い切れないため、最初は座学系イベントなどある程度定員に融通が利くイベントなどを選んで掲載依頼したほうがよいと思われる。また、公式サイトの記事にセンターHP のリンクを貼って誘導する形を想定しているため、仮に事前申し込みが必要なイベントでも参加者の管理は従来通り府中市で行うことができる。

・掲載依頼は事務局から公社へイベント概要とアイキャッチ画像を送るだけであるため、極端に手間が増えることはない。サイトに掲載した場合は公社からポイント加算用の QR コードをもらうことになり、イベント当日に参加者へ案内を行うことになるが、サポーターのみなさんにやってもらうことがあるとすればこれだけになる。⇒検討調整会としては掲載に異論なし。最初に掲載依頼するイベントが決まったら事務局から周知する。

② 各部会の今後の運営について

・議論に先立ち、保全センター、検討調整会、各部会の位置づけと役割を事務局より改めて説明。⇒保全センター＝検討調整会ということか？⇒保全セ

ンターの中にあるサポーターの代表による会議が検討調整会である。⇒組織図などがあるとより分かりやすいかもしれない。

- ・サポーターの役割というのがよくわかっていない。また、検討調整会の結果はサポーターへ伝わっているのか。⇒サポーターとして登録いただいた方にはそれぞれのできる範囲でセンター事業に関わっていただいている。検討調整会の結果については議事録の公表を行っているが、サポーター1人1人に結果を周知しているわけではない。

- ・サポーター登録している方は何名くらいいて、そのうち実際に活動いただいているのはどれくらいか。⇒記録上は81名の登録があるが、そのうちイベント等で関わってくださる方（事業の情報を事務局から都度送ってほしいと意思表示されている方・連絡先をいただいている方）は約20名となっている。⇒検討調整会も部会も関わる人員が少ないため、新たに関わっていただける方を発掘する意味で、81名の棚卸しということで改めて顔合わせ会のようなものを行っては如何か。

- ・検討調整会と各部会の情報連携ということを考えると検討調整会委員が各部会長を務めることが理想的と思われる。⇒以前は実際にそうっており、毎回の部会報告は各部会長から行っていただいていた。部会メンバーからもそのような要望がある。

【環境学習部会について】

- ・塚原仁さんのように先頭に立ってまとめてくださる方が必要。
- ・かんきょう塾ネットの会合・環境学習部会・検討調整会で内容が重複しており、それぞれに顔を出している方からは負担に感じるとの声もあり、これらを整理できないものか。⇒対応案③の検討調整会への一本化（部会の解散）は一つの方法である。
- ・対応案①か③を軸に次回以降改めて検討を行う。

【広報活動部会について】

- ・概ね部会でまとまった方針で差し支えないと思われるが、センターだよりの発行回数を急に年1回へ減らすのは如何なものか。ホームページを充実させることはもちろん重要だが、一部の高齢者などインターネット上の情報にアクセスする手段を持たない方もいる。せめて年2回にできないか。⇒部会に持ち帰る。
- ・シルバー人材センターでさえも紙の広報誌が廃止されている（紙面をPDFでホームページ上に掲載）。是非はあるにせよ現実に即して運用変更を行っている例として。

3. その他・・・

- ・次回日程、欠席者にも確認のうえ調整（後日、下記に決定）。

■次回開催予定日

令和6年度 第6回府中市環境保全活動センター検討調整会（通算157回）

日 時：令和6年10月16日（水）午後1時30分～

場 所：府中駅北第2庁舎 6階小打合せ室